

令和4年4月13日

京丹波町議会議長 梅原 好範 様

京丹波町長 畠中 源一

文書質問回答書

令和4年3月28日付の文書質問書について、京丹波町議会文書質問取扱要綱第4条の規定により、下記のとおり回答します。

記

質問者名	森田 幸子	担当課	子育て支援課
質問事項	新型コロナウイルス感染拡大予防対策について		
質問の内容	<p>(1) 京都府におけるまん延防止等重点措置が3月21日で解除されたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みではまだまだ気を許すことはできない状態である。そのような中で、保育所におけるオムツの持ち帰りは大変不衛生で、感染面でも環境改善が必要と考える。本年2月に行ったアンケート調査の結果では、保護者の負担や感染リスクの軽減を訴える声などがあり、77.6%の方がオムツの持ち帰りを希望されていた。</p> <p>奈良県香芝市では、真空パックの機器を導入し、使用済みオムツをパッキングして保管し、一般ごみとして出すことで「保護者の負担軽減につながるだけでなく、密封することで臭いが軽減され、新型コロナやノロウイルスなどの感染対策にもつながり、保育所の環境改善も期待できる」としている。</p> <p>保育士や保護者の負担軽減につながるだけでなく感染対策など環境改善も期待できるとされる、オムツ真空パック機器を本町でも導入し、園において処分する考えはないか伺う。</p>		
答弁	<p>(1) 子どもの健康状態を把握するために、現在、使用済みおむつの持ち帰りをお願いしております。</p> <p>真空パック機器について、議員仰せの香芝市に確認したところ大変高額なものであり、低価格の機器がないのか、また、園で排出するゴミは、事業系一般廃棄物として許可を受けた廃棄物処理業者に依頼し処分をする必要があることから、処分費用も含め調査研究してまいります。</p>		

質問者名	森田 幸子	担当課	教育委員会
質問事項	新型コロナウイルス感染拡大予防対策について		
<p>質問の内容</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染拡大により手指をはじめ、さまざまな物をアルコールで消毒するようになり、SNSやニュースなどで安易なアルコール消毒に対する注意喚起がされている。そのような中で、図書室においては「本にアルコール消毒を施すと本の劣化につながるため消毒しないでほしい」と呼びかけられている。図書室の利用者から、不特定多数の方が手にする本に抵抗があるとの声が聞かれる中で、書籍除菌機が注目されている。書籍除菌機は紫外線によって書籍を除菌するとともに、書籍に風を当てて本に挟まったごみや臭いを取り除く機能がある。除菌が生活の一部となった今、本町においても新しい生活様式の一環として、衛生的な図書を提供するため、書籍除菌機を導入する考えはないか伺う。</p>			
<p>答弁</p> <p>(2) SNSなどでは「本にアルコール消毒を施すと本の劣化につながるため消毒しないでほしい」という呼びかけが話題になっておりますが、日本図書館協会はFNNプライムオンラインのインタビューのなかで「本をフィルムコーティングすることでアルコール消毒ができるようになる」という考えを示しています。町内の図書室の本はフィルムコーティングされているものが大半であり、図書室職員の判断のもと適切に消毒作業を行っています。また、現在販売されている書籍除菌機の大半が紫外線照射による除菌を採用していることから、日本図書館資料保存委員会からは導入が推奨されておらず、日常業務の中で使用すべきかどうか慎重に検討しているところです。</p> <p>一方で、感染症予防の意識が高まる中で、書籍除菌機を使用して消毒することで利用者の安心感が高まることは事実であると考えております。</p> <p>つきましては、利用者に安心感をもって蔵書を利用していただけるかどうかという観点から、図書サービスの一環として書籍除菌機を導入することの要否について、今後もニーズの聞き取りを重ね、検討してまいります。</p>			